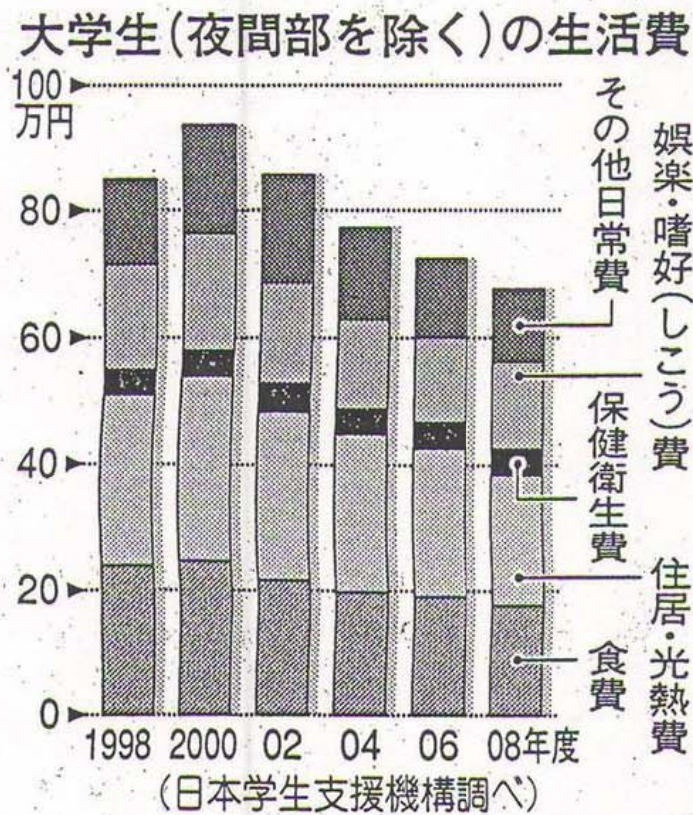




大学生の生活費3割減

ピーク時2000年度94万円→08年度68万円



大学生(夜間部を除く)の2008年度の年間平均生活費は68万円で、ピークだった00年度の94万円から約3割減少したことが18日、日本学生支援機構の調査で分かった。不況の影響で仕送りや小遣いなどの収入が伸びない中、生活費の切り詰めを迫られている学生の姿が浮かんできた。

調査は、国公私立の大学生、短大生、大学院生を対象に隔年で実施し、約4万1千人が回答。うち大学生の内訳は自宅生54%、下宿生46%。大学生の生活費は、02年度86万円、04年度77万円、06年度77万円、08年度68万円。

支援機構調査

72万円と4回連続で減たのは下宿している私立大生の238万円、少した。

08年度の生活費の内訳は住居・光熱費が21万円、国立大生の106万円、前回の06年度より3万円減。続いて食費が18万円（同1万円減）、インターネット利用経費などの娯楽・嗜好（しこう）費14万円（同1万円増）、携帯電話の通話料金や洋服代など、その他の日常費は11万円（同1万円減）―などだった。

一方、親の仕送りやアルバイト代などの収入は前回調査とほぼ横ばいの220万円。うち「家庭からの給付」が占める割合は2割減の66%で、「奨学金」は1割増の15%だった。

授業料や通学費などの「学費」は118万円、1968年度の06年度より3%減少。調査開始から一貫して増加。国立は増減なしの79万円、公立は2%減の7

生活費に学費を合わせた平均は186万円、私立は4%減の834万円だった。住形態別で最も高かった。

2010.3.19(金)京都新聞より

「USAGI通信はメールでの送信も可能です。メールでの送信をご希望の方は弊社ホームページ<http://3215.co.jp/>からメールアドレスをお知らせ下さい。」